

令和元年度

釜石・大槌企業交流プラザ

釜石・大槌企業交流プラザは、地域における企業間・産学官の連携・交流を促進し、新規事業の創出や新たな取引の拡大など新しい価値の創造を生むことにより企業のさらなるレベルアップを図り、併せて、管内企業の取り組み事例発表や情報交換会を行なうことにより、地域全体の産業の活性化を図ることを目的として開催いたします。

開催日時

令和2年

3月4日(水)

15:00～17:15

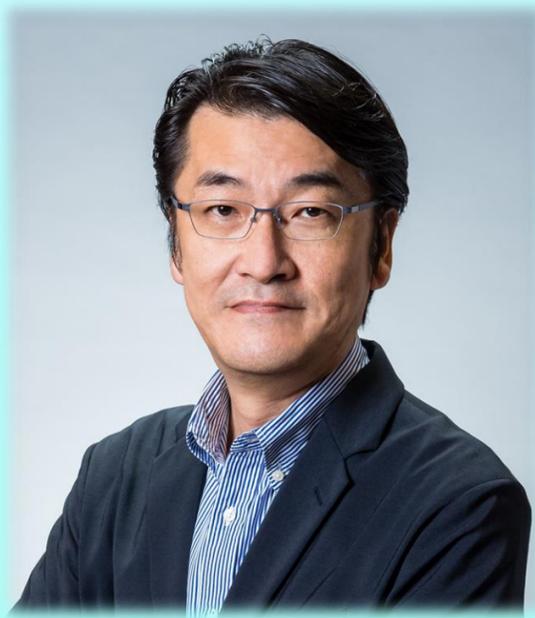
【基調講演】 15:05～16:35

講師

アクセント株式会社

アクセント・イノベーションセンター福島

センター長 中村 彰二郎 氏



会場

釜石ベイシティホテル

釜石市大町1-8-1 2階 さんがん島

定員

60名

講演会
参加費無料

対象

企業、団体、関係機関ほか

【テーマ】

「デジタルシフトによる地方創生」

【内容】

日本の再生を実現するため、復興から地方創生へとステージを移し、首都圏一極集中から分散配置論を提唱、会津若松市を実証フィールドと位置付け、デジタルシフトによるスマートシティ・地方創生事業(再エネ/省エネ・IoTヘルスケア・デジタルDMO、デジタルコミュニケーション等)を推進し会津発での地方創生モデル構築の取り組みをご紹介いただき、今後の釜石・大槌地域が目指すべき地方創生の姿の手がかりを得る機会とするもの。

【講師プロフィール】

1963年生まれ、宮城県出身。IT業界～経営コンサル業界を経て、2011年1月、アクセントに移籍。東日本大震災以降は、福島県及び東北復興を目的に設立した、アクセント・イノベーションセンター福島のセンター長に着任し、居を会津若松市に移し、復興支援に従事する。2014年からは、デジタルシフトによる地方創生のモデル構築に取り組んでいる。

【事例紹介】 16:50～17:10

釜石・大槌地域企業の事例を紹介します。

①小島製菓のD to C戦略

代表取締役 菊地広隆 氏

②岩手大学ものづくりサテライトの取り組み及びシーズ紹介

岩手大学三陸復興推進機構・三陸復興部門

岩手大学釜石ものづくりサテライト 特任研究員 熊谷和彦 氏

【交流会】 17:30～19:00 (会費4,000円)

■ 主催 公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター
■ 共催 釜石市、大槌町、釜石商工会議所、大槌商工会、岩手大学釜石ものづくりサテライト
■ 後援 岩手県沿岸広域振興局

【申込方法】 下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、メールかFAXにてお申込みください。

E-mail info@ikusei.or.jp
FAX 0193 (26) 7557

【申込締切】 令和2年 2月 25日 (火)

釜石・大槌企業交流プラザ 参加申込書

令和 年 月 日 申込

事業所名	
住所	〒
電話番号	
FAX番号	
E-Mail	

【参加者】

	役 職	氏 名
1		
	交流会（会費4,000円）	参加 ・ 不参加
2		
	交流会（会費4,000円）	参加 ・ 不参加
3		
	交流会（会費4,000円）	参加 ・ 不参加